

週間漁海況情報—第31号

平成24年8月6日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

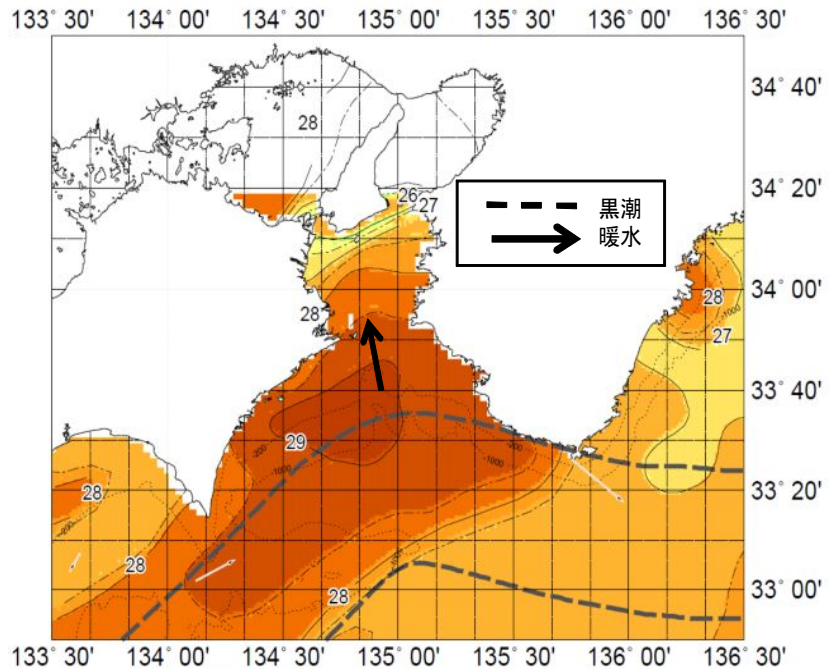
1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.8.6）を示した。

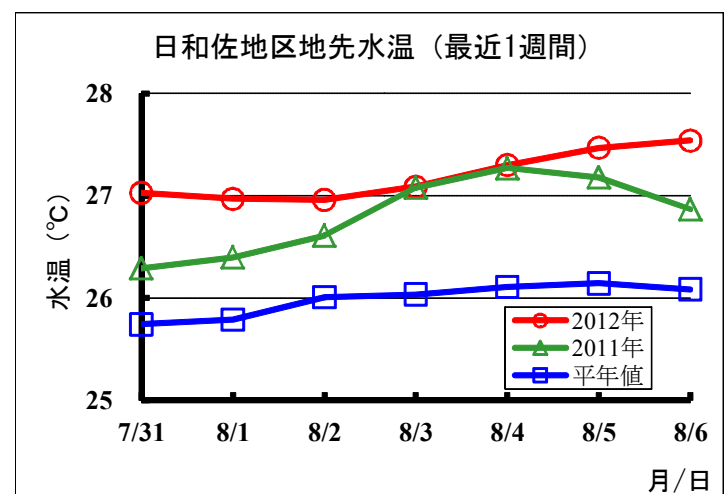
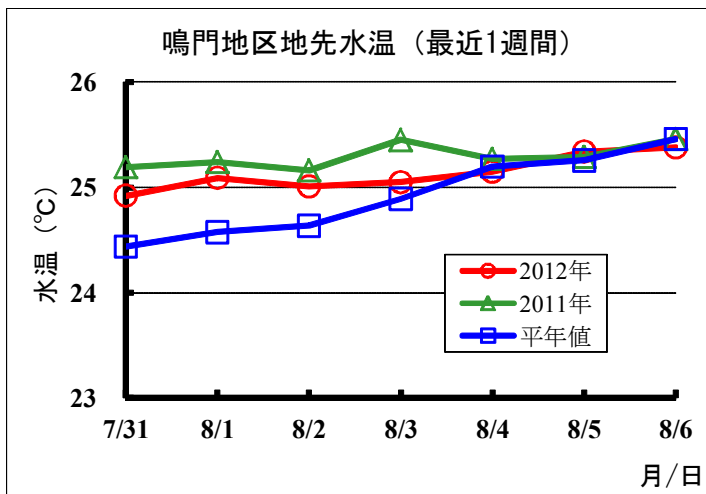
黒潮は、室戸岬沖～潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、28℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で25～27℃台、紀伊水道で26～28℃台、海部沿岸で27～29℃台である。

黒潮系暖水が、紀伊水道外域へ広範囲に流入し、海部沿岸から紀伊水道内にかけて、広く28℃以上の暖水に覆われている。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の24.9～25.4℃、日和佐地区は「やや高め」～「高め」の27.0～27.5℃、牟岐地区は「高め」～「かなり高め」の27.4～28.5℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

台風10及び11号の影響を受けたため、特に海部沿岸では出漁回数が少なかった。

延縄：海部沿岸で、小・中主体にアカムツが0.1トン（1日1隻当たり28kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、マルソウダが0.5トン（同17kg）水揚げされた。

釣り：紀伊水道で、特大主体にタチウオが0.3トン（同15kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが46.5トン（同500kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 7月30日～8月5日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	4	112	28	小・中主体
釣り		マルソウダ	30	500	17	
	紀伊水道	タチウオ	21	325	15	特大主体
パッチ網		シラス	93	46,500	500	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年8月1日～7日は、海部沿岸では、小型定置網で、ウルメイワシが1.7トン、カタクチイワシが0.3トン、小小主体にカマス類が0.6トン、ゴマサバが0.3トン、小主体にマアジが2.1トン、マイワシが1.9トン、マルアジが0.2トン、釣りで、大主体にゴマサバが0.5トン、マルソウダが3.9トン、活主体にヨコワが0.5トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖～潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の25～26℃台、日和佐地先で「やや高め」の27～28℃台で推移する見込み。